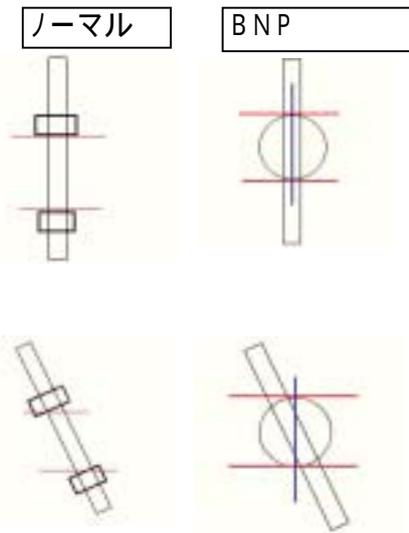


## 17. ボールノッキングポイントの考察

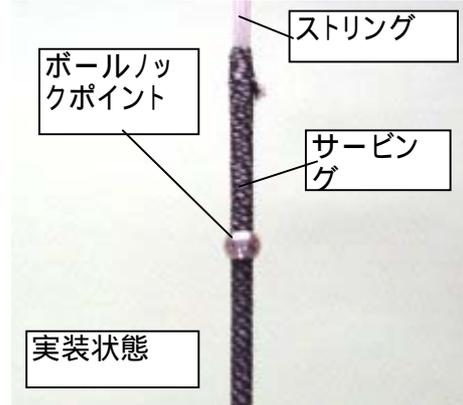
ボールノッキングポイントというものをご存知ですか、私がこのポイント見て思ったのはフィールドのとき、特にBB(ペアボウ)において優位かなと思い購入しました。このポイントを使ったときのよい点と問題点をまとめて見ましょう。

まず、通常のノッキングポイントと異なる点はこのボールノッキングポイント(BNP)は専用のノックを必要とするが、ストリングが傾斜した場合にもサービングに干渉せず、矢を上下させるテンションがかかりにくいことになる。それはノックとストリングがつながっている部分が球形に由来するからである。

通常のとりかけではノックをはさむ形で行うためにさして問題はないがペアボウの場合は距離の変化に対応するためストリングウォーキングを行うため、距離が短くなればなるほど図のように矢の発射方向に比べストリングが傾いていることになる。この状態から実装状態に戻るために



傾斜時とノーマル時で赤ラインはノックの幅のつもり



矢を上下させる力が働くと同時にノックの幅が通常の場合は傾いた場合と水平時とは異なりノッキングポイントの場合によっては干渉してより矢に異なった方向の力が働くことになる。

### BNPの結果

1. よい点はやはり傾斜した場合の返りに対する影響は少ないと思う。
2. 専用ノックを要求されるので初期費用が高い
3. ストリングを作る場合面倒である
4. ボールがサービングの下、ストリングに直接入っているのでストリングにストレスをかけやすい

### まとめ

実際全日本大会などで使用してみたが素直にリリースすればばらつきは少ないように思います。ただし、ストリングに直接入っている分、耐久性が問題で、大会時にも予備弦に取り替えて対応した。直接ストリングをいためるので補修が利かない。結果としては精度よりも安定性が重要なので現在はお蔵入り状態である。考え方は面白いのだけれども…

で、現在はスライドNPとしてBBはちょっとした工夫でテンションがかかりにくくして通常のNPを工夫しています。また機会があれば紹介しましょう。